

EIT-JSCE Joint International Symposium on International Human Resource Development for Disaster- Resilient Countries 2014 実施報告

岩盤力学委員会

大津 宏康 (京都大学大学院工学研究科)

土木学会岩盤力学委員会は、公益信託土木学会学術交流基金による助

成を受け、日本とタイとの岩盤工学および関連分野の技術交流を目的として、土木学会の協定学会であるタイ王立工学会EIT (Engineering Institute of Thailand) と連携し「EIT-JSCE Joint International Symposium on International Human Resource Development for Disaster-Resilient Countries 2014」を、以下の要領で開催した。

(1) 講演会 (一般セッション)

開催日：2014年8月25日(月)
開催場所：Imperial Queen's Park Hotel (タイ・バンコク)

(2) 講演会 (学生・若手技術者セッション)

開催日：2014年8月26日(火)
開催場所：Imperial Queen's Park Hotel (タイ・バンコク)

(3) フィールドトリップ

開催日：2014年8月27日(水)
訪問場所：バンコク外環状道路 (Outer Ring Road) 補修現場

本イベントでは、日本側から42名(うち学生19名)、タイ側から20名の参加者を得て、第1日目の講演会(一般セッション)に加えて、第2日目は当該分野の日本ならびにタイの学生・若手研究者に対して、英語でのプレゼンテーションの機会を提供する学生・若手技術者セッションを開催



写真1 講演会場

した。また、第3日目には2011年のバンコク大洪水被害を受けて、現在洪水対策を含めたバンコク国道9号線・外環状道路 (Outer Ring Road) 補修現場へのフィールドトリップを開催した。

第1日目の講演会(一般セッション)では、岩盤力学に関するさまざまな研究成果が発表されたが、以下の3テーマの研究発表が注目された。1番目のテーマは、風化岩盤斜面の降雨に起因する浅層崩壊である。気候変動の影響を受けて日本のみならずアジア各国では集中豪雨の発生頻度の増加に伴い、斜面災害が多発しつ



写真2 基調講演の様子

つあることが議論され、その知識を共有することの重要性が再認識された。2番目は、2011年3月および2014年5月に、タイ北部・ミャンマー国境付近で発生した地震災害である。従来、インドシナ地域では地震の発生がほとんどなかったため耐震設計の重要性は認識されていなかった。しかし、タイでの地震においては斜面災害のほかにも、液状化の発生も確認されており、日本からの技術協力の必要性が議論された。3番目は、日本のODA(円借款)事業によるネパールでの大規模斜面を含む道路建設プロジェクトである。このプロジェ



写真3 フィールドトリップの様子

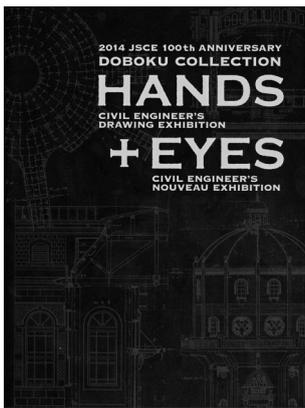
クトの報告に対しては、タイのネパールからの留学生から国の発展に対する日本の援助への謝意が示されるとともに、出席者間で日本のODA事業によるインフラ建設事業の必要性および今後の有り方に関して議論がなされた。

第2日目の講演会(学生セッション)では、岩盤工学および関連分野を研究対象としている学生・若手研究者に、タイの学生(アジア工科大学、カセサート大学、スラナリー工科大学等)と合同での、英語でのプレゼンテーションを実施した。同セッション

ンは、2007年から開催して今回で8回目である。開始から当初の2〜3年は、残念なことに日本人学生の英語によるプレゼンテーション能力は、タイ人学生に比較して明らかに劣っていたが、回を重ねるに連れて日本人学生の英語能力は目に見えて改善されてきた。ただし、発表は改善されたが質疑応答では、まったく回答できない学生も数多く見受けられた。しかし、本年はかなりの日本人学生が質疑応答をこなせるようになってきた。昨今、大学教育の国際化の必要性が唱えられているが、学生の語学能力の向上には、このような場を提供し、そして継続することが最も有効な方策となることを実感した。

今回のイベントを通して、タイと日本において共通の研究課題が増加しつつあることが再認識されるところにも、教育の国際化に関する発展過程も目にする事ができた。今後とも、このような取り組みを実践することが、岩盤力学分野をはじめとして日本の土木工学の発展に寄与するものと確信した次第である。

土木学会の本



創立100周年記念出版
土木コレクション HANDS + EYES

「土木コレクション」とは、土木界が保有する歴史資料、図面、写真など普段目にする事ができない各種コレクションを展示、公開するものです。

明治から昭和初期の土木エンジニアは高い志、熱意、プライドを持って国土づくりに取り組んできました。この時代の美しく繊細な図面一枚一枚からは、当時の土木技術の大胆かつ優れた構想力とともに、先人たちの熱い思いが伝わってきます。これらの事例がHANDS、また、はっと目を奪われるような未来を見通した土木事業のこれらを感じてもらえるような新しいコンセプトの事例をEYESとしました。

このたび土木学会創立100周年を記念して、図録としてとりまとめました。多くの皆様の手にとっていただき、土木の魅力、奥深さを感じていただければ幸いです。

なお、全国各地で展示会も開催しておりますので、下記URLをご確認のうえ、ぜひお出かけください。
<http://dobokore.jsce.or.jp>

- 編集：土木の日実行委員会 土木コレクション小委員会 (委員長：九州大学・島谷幸宏)
- 2014年6月発行、A4変形判、156ページ、並製本
- 定価：702円(本体650円+税)→**会員特価：640円**※注
- 送料：470円

ISBN 978-4-8106-0812-0

注文・
問合せ先

土木学会 出版事業課 書籍販売係
TEL 03-3355-3445 / FAX 03-5379-2769
■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>
■FAX注文 学会誌綴込み「図書注文書」をご使用ください

丸善出版(株)
TEL 03-3512-3256 / FAX 03-3512-3270
※注)丸善出版への注文には会員特価は適用されません